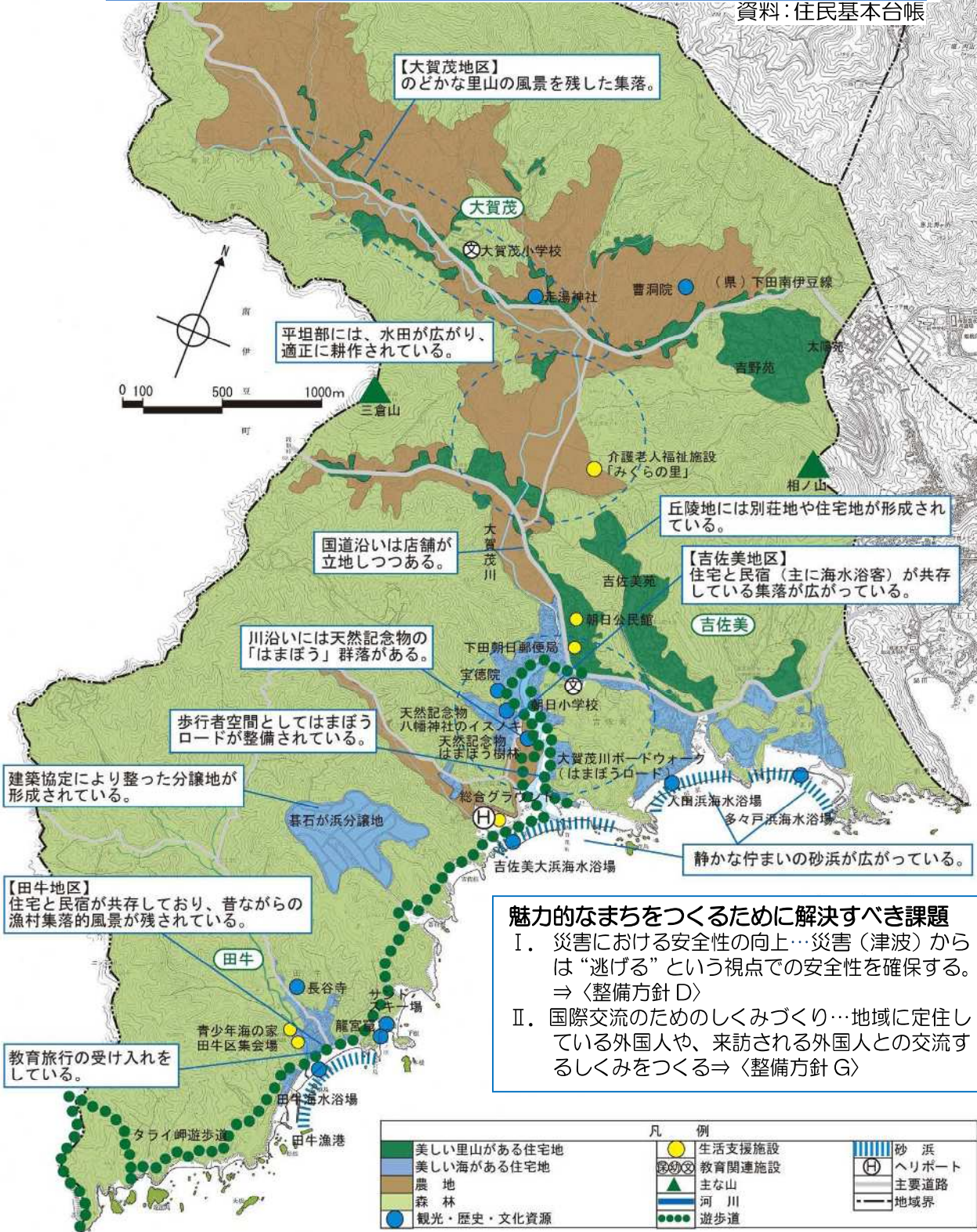


3. 朝日地域

朝日地域の現況と課題

地域の人口と世帯数の推移	H20	H22	H24	H26
人口(人)	4,250	4,228	4,167	4,137
世帯数(世帯)	1,774	1,799	1,817	1,858

資料：住民基本台帳



■朝日地域の将来像

「海、山、川の豊かな自然があふれる、次世代育成がしやすい朝日」

◆地域づくりの基本方針

- ① 土地利用と交通：豊かな自然を守り、暮らしたくなる基礎をつくる
- ② 安全と都市施設：安全面の向上と国際交流や世代間交流ができる機能をつくる
- ③ 自然、歴史、文化、賑わい：地域資源を活用して国際交流や世代間交流ができる魅力をつくる

整備方針：◎早期実行プロジェクト、◆都市マス実践業務、●重点プロジェクト
取組施策：☆取組中、★取組完了、1. 市民・事業者・行政協働で取り組む施策

①土地利用と交通：豊かな自然を守り、暮らしたくなる基礎をつくる

<整備方針A 自然豊かな生活環境の維持>

A-1) 地域特性に併せて、それぞれの地区の将来像を次のように位置づける。

【吉佐美地区】地域生活の拠点として住環境の維持・向上を図るとともに、国道沿いの店舗の立地を進める。また、地域独自のもてなしを感じる個性的な民宿の立地を推進する。

【大賀茂地区】水田が広がるのどかな集落として、里山の景観、住環境の維持・向上を図る。

【田牛地区】漁業や海辺の景観や、住宅と民宿が共存する住環境を維持する。

【別荘地】緑に囲まれた静かで落ち着いたある住環境を維持する。

取組施策	1. 地域特性に応じた土地利用や建物、垣根や景観のルールづくり 2. 建築協定の推進 3. 農業・漁業担い手の育成支援（就業希望者への支援実施など）
------	--

<整備方針B 海岸線や里山の保全>

●B-1) 朝日地域ならではの美しい自然環境、植生、ジオサイト（龍宮窟など）を保全する。

【海岸線保全】吉佐美大浜・入田・多々戸・田牛などの変化に富んだ美しい砂浜と森林が織りなす海岸景観を保全する。

【里山保全】大賀茂地区や田牛地区の地区を取り囲む里山を適正に管理し、風倒木等を未然に予防する。

取組施策	1. 「富士箱根伊豆国立公園」の指定継続 2. ごみの投棄防止と定期的な海岸清掃
------	---

- 3. (市民や来訪者を巻き込んだ) 森林保全活動の実施
- 4. 森林所有者が維持管理できるサポート体制の整備(専門家による指導体制の確立、林業家の育成への支援、森林整備への支援など)
- 5. 海岸線一帯を現在の状態で保全できる法的規制の検討

B-2) 吉佐美漁港の漁業環境の向上を図る。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 取組施策 | ★1. 漁港整備等の漁業生産基盤の実施 |
|-------------|---------------------|

<整備方針C 良好な交通環境の確保>

C-1) 道路の維持ならびに地区の交通における安全性の確保を図る。

- | | |
|-------------|---|
| 取組施策 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 道路の維持・管理(国道、県道、市道) 2. 地域に密着した道路の改修(待避所の設置、拡幅など) 3. 建て替え時に各家でセットバックすることによる道路の拡幅(地区計画等の活用) 4. 細街路における一方通行規制の検討 5. 防犯灯の設置 |
|-------------|---|

C-2) すべての人が自由に移動できるように公共交通機関の充実を図る。

- | | |
|-------------|---|
| 取組施策 | <ul style="list-style-type: none"> 1. サイクル&バスライドの検討 2. 地域と中心市街地を結ぶコミュニティバスの運行検討 |
|-------------|---|

②安全と都市施設：安全面の向上と国際交流や世代間交流ができる機能をつくる

<整備方針D 防災対策>

●D-1) 地震や津波、風水害に負けない地域をつくる。

- | | |
|-------------|--|
| 取組施策 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 津波避難路の整備 2. 指定避難場所等の備蓄の充実 3. (来訪者や子どもを含めた) 災害・警報時の避難体制・協力体制づくり 4. 避難路沿道の閉塞対策(狭あい道路の解消) 5. 既存建築物の耐震化 6. 土砂災害対策施設の整備 7. 津波対策施設の整備 8. 高台までの誘導標識の設置 9. 災害後に備えた、地籍調査の実施 10. 災害後に備えた、高台造成の検討 11. 災害後に備えた、農地における宅地化の検討 |
|-------------|--|

<整備方針E 暮らしやすさと働きやすさの向上>

E-1) 水道が未給水の区域については、上水道施設の拡張整備を推進し、住環境を向上する。

取組施策	1.上水道施設の拡張整備の推進及び維持管理（大賀茂地区）
------	------------------------------

E-2) 子どもの遊び場や地域の人たちが交流できる場として、かつ災害時にも活用できる、地域に身近な広場を設ける。

取組施策	1.災害時にも利用可能な広場の確保
------	-------------------

E-3) 新たなインフラ（高速通信網）整備の促進により、暮らしやすく働きやすい環境を整備する。

取組施策	1.情報インフラ（高速通信網）の整備推進
------	----------------------

<整備方針F 交流拠点の環境整備>

F-1) 美しい海と川を守る。（大賀茂川の水を綺麗にする）

取組施策	1.合併処理浄化槽の設置による生活污水の排出防止 2.大賀茂川の水質向上(植生による浄化など)と堆積物の除去
------	---

● F-2) 朝日地域の資源である遊歩道などの施設や自然環境、植生を、周辺の環境を含めて適切に管理を行う。

取組施策	1.タライ岬遊歩道の維持管理 2.大賀茂川ボードウォーク（はまぼうロード）の整備 3.海水浴場の維持管理 4.龍宮窟などの維持管理（駐車場の確保など） 5.市の天然記念物に指定されている「はまぼう樹林地」、ハマユウ（ハマオモト）などの自然度の高い植生の保護
------	--

③自然,歴史,文化,賑わい：地域資源を活用して国際交流や世代間交流ができる魅力をつくる

<整備方針G 地域資源の活用とおもてなし>

◎G-1) 外国人が訪れやすい雰囲気づくりや、外国人と交流するための環境を整える。

取組施策	<ol style="list-style-type: none"> 1.定住している外国人と触れ合うためのイベントの開催 2.ジオサイトを拠点とした国際交流（学生によるガイドなど） 3.民宿における外国人の受け入れ態勢づくり 4.空き部屋などを賃貸して長期滞在できる仕組みづくり
-------------	--

◎G-2) 地域の資源を活用しながら、市民や来訪者が楽しく過ごせる空間をつくる。

取組施策	<ol style="list-style-type: none"> 1.朝日地域にある自然、歴史、文化といった地域資源の掘り起こし 2.海水浴ができる環境やサンドスキー場などの維持 3.大賀茂柿・みかん狩り園の継続 4.資源が掲載されているマップづくり
-------------	---

●G-3) 地域の子供たちが朝日地域の良さを感じることが出来る機会を提供する。

取組施策	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域の良さを地元学生に経験してもらうイベントの開催 2.学校教育と連携した体制づくり（体験プログラムの実施・充実） 3.事業者による産業体験学習活動への理解と支援
-------------	---

G-4) 国道・県道等の沿道は、花々の植栽により、季節の花々が楽しめる環境を整備する。

取組施策	☆1.沿道への花の植栽・管理（アダプトプログラムの実施など）
-------------	--------------------------------

<整備方針H 農業の活性化>

H-1) 農業を行いたい人が農業をできる環境をつくる。

取組施策	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域ぐるみの仕組みづくり（作業受委託、集落営農、環境にやさしい農業の実施など） 2.市民農園の展開
-------------	--

H-2) 地域の農水産物を活用した特産品をつくる。

取組施策	<ol style="list-style-type: none"> 1.地元産品の販売体制の確保（民宿等とのさらなる連携など） 2.地元産品を使用した商品の開発・提供 3.地元産品の積極的な消費（下田市内外へのPR、学校給食への活用など）
-------------	---

朝日地域まちづくり方針図

〈地域の将来像〉

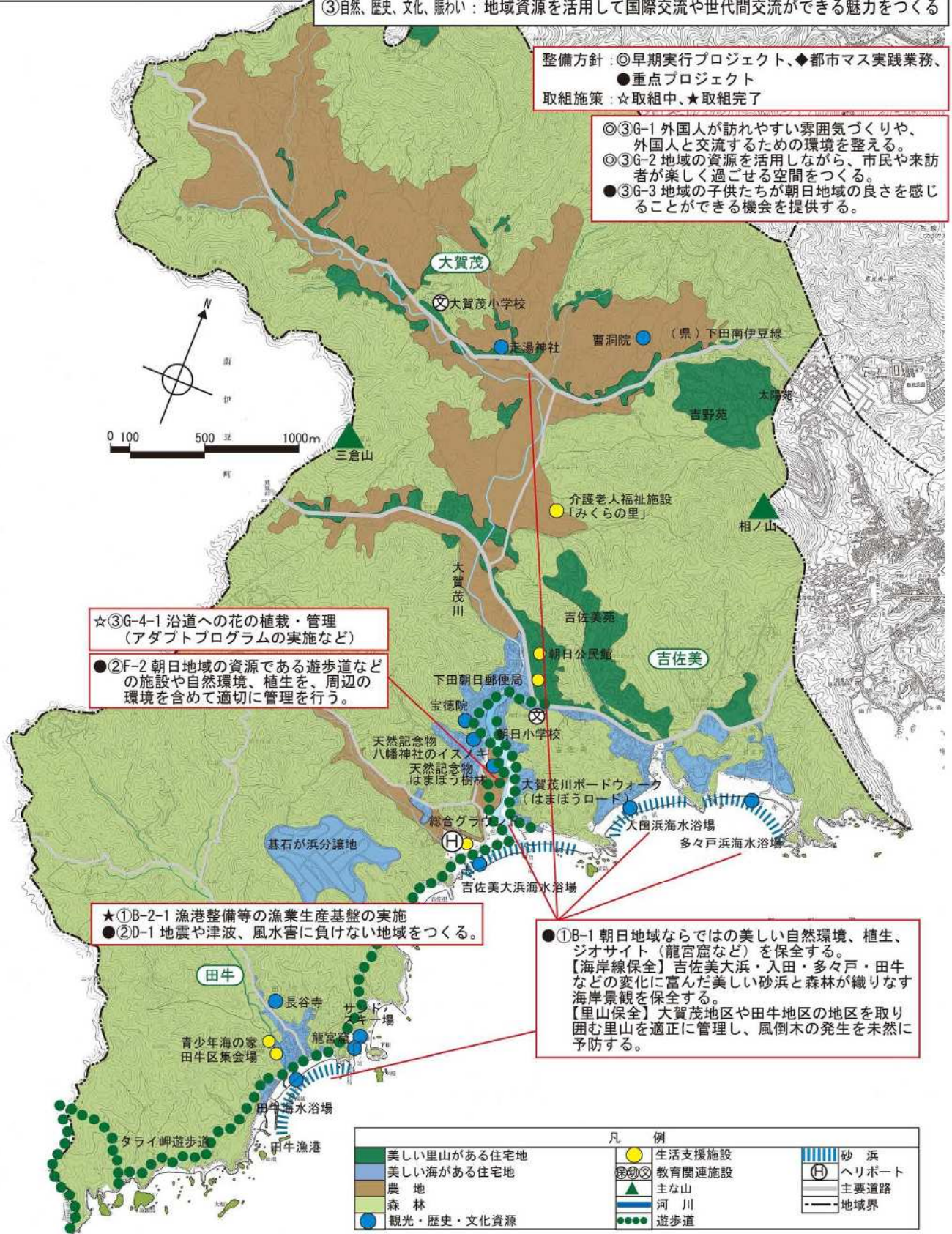
「海、山、川の豊かな自然があふれる、
次世代育成がしやすい朝日」

〈地域づくりの基本方針〉

- ①土地利用と交通：豊かな自然を守り、暮らしたくなる基礎をつくる
- ②安全と都市施設：安全面の向上と国際交流や世代間交流できる機能をつくる
- ③自然、歴史、文化、賑わい：地域資源を活用して国際交流や世代間交流ができる魅力をつくる

整備方針：◎早期実行プロジェクト、◆都市マス実践業務、
●重点プロジェクト
取組施策：☆取組中、★取組完了

- ◎③G-1 外国人が訪れやすい雰囲気づくりや、外国人と交流するための環境を整える。
- ◎③G-2 地域の資源を活用しながら、市民や来訪者が楽しく過ごせる空間をつくる。
- ③G-3 地域の子供たちが朝日地域の良さを感じることができる機会を提供する。



☆③G-4-1 沿道への花の植栽・管理
(アダプトプログラムの実施など)
●②F-2 朝日地域の資源である遊歩道などの施設や自然環境、植生を、周辺の環境を含めて適切に管理を行う。

★①B-2-1 漁港整備等の漁業生産基盤の実施
●②D-1 地震や津波、風水害に負けない地域をつくる。

●①B-1 朝日地域ならではの美しい自然環境、植生、ジオサイト(龍宮窟など)を保全する。
【海岸線保全】吉佐美大浜・入田・多々戸・田牛などの変化に富んだ美しい砂浜と森林が織りなす海岸景観を保全する。
【里山保全】大賀茂地区や田牛地区の地区を取り囲む里山を適正に管理し、風倒木の発生を未然に予防する。

凡 例		
美しい里山がある住宅地	生活支援施設	砂浜
美しい海がある住宅地	教育関連施設	ヘリポート
農地	主な山	主要道路
森林	河川	地域界
観光・歴史・文化資源	遊歩道	

4. 浜崎地域

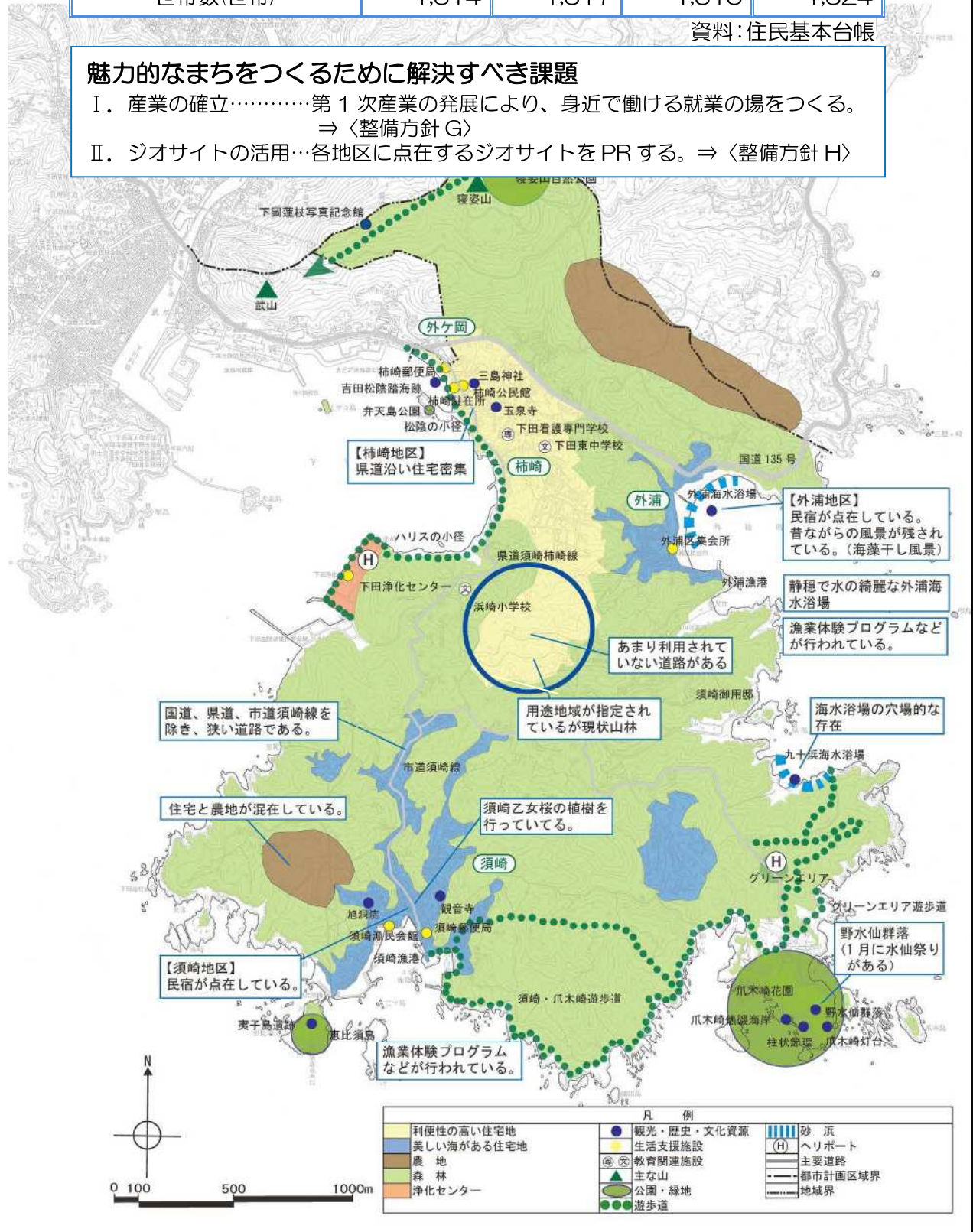
浜崎地域の現況と課題

地域の人口と世帯数の推移	H20	H22	H24	H26
人口(人)	3,051	2,994	2,916	2,860
世帯数(世帯)	1,314	1,317	1,315	1,324

資料:住民基本台帳

魅力的なまちをつくるために解決すべき課題

- I. 産業の確立……………第1次産業の発展により、身近で働ける就業の場をつくる。
⇒〈整備方針G〉
- II. ジオサイトの活用…各地区に点在するジオサイトをPRする。⇒〈整備方針H〉



■ 浜崎地域の将来像

「海や花、緑を取り入れた、にぎわいとやさしさがあふれる浜崎」

◆ 地域づくりの基本方針

- ① 土地利用と交通：海と緑に囲まれた住環境と産業の基礎をつくる
- ② 安全と都市施設：安全面の向上と来訪者をもてなすための機能をつくる
- ③ 自然、歴史、文化、賑わい：6次産業化の推進と訪れたい魅力をつくる

整備方針：◎早期実行プロジェクト、◆都市マス実践業務、●重点プロジェクト
 取組施策：☆取組中、★取組完了、1. 市民・事業者・行政協働で取り組む施策

① 土地利用と交通：海と緑に囲まれた住環境と産業の基礎をつくる

< 整備方針 A 静かな環境の維持 >

A-1) 「富士箱根伊豆国立公園」を中心とした半島一帯の海岸線の自然環境を保全する。

取組施策	1. 「富士箱根伊豆国立公園」の指定継続 2. 森林の適正管理（私有林）
------	---

A-2) 緑や海などの自然環境と調和した市街地を形成する。〈用途地域内〉

柿崎地区(県道沿い)	民宿が点在する市街地として住環境を維持するとともに、周辺の緑や海辺の景観に調和した地区をつくる。
柿崎地区(住宅団地)	戸建て住宅と保養所が共存する市街地として落ち着いた住環境を維持する。
須崎地区の丘陵地 〈現在未利用地(森林)〉	無秩序な開発を抑制するため、計画的な宅地開発を誘導する。

取組施策	1. 用途地域等のルール指定継続 2. 土地利用や建物、景観、緑化などのさらなるルールづくり
------	---

A-3) 須崎地区にある別荘地や分譲地は、須崎御用邸のある地区としてふさわしい、緑に囲まれた閑静な住環境を維持する。

取組施策	1. 「富士箱根伊豆国立公園」の指定継続 2. 建築協定等の推進
------	-------------------------------------

A-4) 外浦地区や須崎地区は、漁村や海辺の景観や民宿が点在する住環境を維持する。

取組施策	1. 「富士箱根伊豆国立公園」の指定継続 2. 土地利用や建物、景観、緑化などのさらなるルールづくり
------	---

<整備方針B 漁業施設や農地の維持>

B-1) 外浦漁港や須崎漁港の漁業環境の向上を図る。

取組施策	1.漁業担い手の育成支援（就業希望者への支援実施など） ☆2.漁港整備等の漁業生産基盤の実施
------	---

B-2) 柿崎・須崎地区の畑や樹園地等まとまった農地の保全を行う。

取組施策	1.農業担い手の育成支援（就業希望者への支援実施など） 2.市民農園等の実施
------	---

<整備方針C 良好な交通環境の確保>

C-1) 道路の維持ならびに地区の交通における安全性の確保を図る。

取組施策	1.道路の維持・管理（国道、県道、市道）
------	----------------------

C-2) すべての人が自由に移動できるように公共交通機関の充実を図る。

取組施策	1.バス路線の維持
------	-----------

●C-3) 地区間や海岸線をつなぐ歩行者ネットワークの充実を図る。

取組施策	1.遊歩道の整備（伊豆急下田駅～寝姿山自然公園） 2.ハリスの小径の延長整備 3.松陰の小径の整備 4.須崎、柿崎、外浦が繋がる道路の活用
------	--

② 安全と都市施設：安全面の向上と来訪者をもてなすための機能をつくる

<整備方針D 防災対策>

●D-1) 地震や津波、風水害に負けない地域をつくる。

取組施策	1.指定避難場所等の災害時用備蓄の充実 2.(来訪者や子どもを含めた)災害・警報時の避難体制・協力体制づくり 3.土砂災害対策施設の整備 4.既存建築物の耐震化 5.避難路の整備 6.避難路沿道の閉塞対策（狭あい道路の解消） 7.高台までの誘導標識の設置 ☆8.外防波堤の整備 9.津波対策施設の整備 10.災害後に備えた、地籍調査の実施 11.災害後に備えた、漁港の早期復旧手順の検討 12.災害後に備えた、農地における宅地化の検討
------	--

<整備方針E 暮らしやすさと働きやすさの向上>

E-1) 生活污水の排出防止により環境を保全する。

取組施策	1.下水道の普及と下水道指定区域外の合併処理浄化槽の普及
------	------------------------------

E-2) 新たな情報インフラ(高速通信網)の整備の促進により、暮らしやすく働きやすくなる環境をつくる。

取組施策	1.情報インフラ(高速通信網)の整備
------	--------------------

<整備方針F 美しい海や開国の歴史とふれあうための基盤づくり>

F-1) 海が様々なレジャーで活用できるよう、環境を整える。

取組施策	1.スキューバダイビング、海釣り等ができる環境整備 2.外浦、九十浜海水浴場の管理
------	--

F-2) 市民や来訪者が日本開国の歴史にふれ、親しむことのできる空間を整備する。

取組施策	1.玉泉寺周辺の環境整備(歩道整備など)
------	----------------------

F-3) 美しい海岸景観を楽しむことができる空間として、歩行者ネットワークの休息所としての環境を充実させる。

取組施策	1.御台場公園の整備 2.寝姿山自然公園の整備・管理
------	-------------------------------

③ 自然、歴史、文化、賑わい : 6次産業化の推進と訪れたい魅力をつくる

<整備方針G 農業や漁業の6次産業化>

●G-1) 農業や漁業の6次産業化の推進を図る。

取組施策	1.地元産品(カジメや九年母、天草など)を使用した商品の開発 2.農産物や海産物を活用した料理教室の開催 3.地元産品の販売体制の確保(下田市内外へのPR、学校給食への活用、民宿等とのさらなる連携など) ☆4.学校教育と連携した体験プログラムの実施・充実 5.近海・遠洋観光釣り船の対応と釣り客誘致 6.新鮮な海の食材を味わえるレストラン等の場の形成(民宿との連携等) 7.耕作放棄地における市民農園、観光農園化
------	--

<整備方針 H 美しい海や花、開国の歴史を感じる拠点づくり>

◎H-1) 各地区のジオサイトや美しい海、四季の花々を学び、親しむことができる空間をつくる。

取組施策	1.地域の資源を知る取組み 2.ジオサイト近くへの花々（乙女桜など）の植樹 3.海からジオサイトを見学するための検討
------	--

H-2) 爪木崎周辺は、花咲く風景と海岸の景観を活かし、さらに魅力的な地域とする。

取組施策	1.花、海等の自然環境保全に対する意識啓発 2.グリーンエリアのPR及び活用
------	---

H-3) 玉泉寺周辺など、市民や来訪者が日本開国の歴史や地域の祭事を大切にする。

取組施策	1.歴史資源の保全活動への実施 2.歴史資源のPR（玉泉寺、弁天島など） 3.祭り等の継続的な開催
------	---

H-4) 県道・国道等の沿道は、花の植栽により、季節の花々が楽しめる環境を整備する。

取組施策	☆1.沿道への花の植栽・管理（アダプトプログラムの実施など）
------	--------------------------------

H-5) 誰にもわかりやすいサインの充実（統一）を図る。

取組施策	1.サイン設置等のルール導入（サイン計画）
------	-----------------------

◎H-6) 地区の特色ある資源を楽しみながら周ることができるコースづくりを行う。

取組施策	1.ジオサイトや地区の歴史、文化などの資源を見て周れるコースの検討 2.コース内での地場製品の販売体制の確保
------	---

浜崎地域まちづくり方針図

〈地域の将来像〉
「海や花、緑を取り入れた、にぎわいとやさしさがあふれる浜崎」

〈地域づくりの基本方針〉

- ①土地利用と交通：海と緑に囲まれた住環境と産業の基礎をつくる
- ②安全と都市施設：安全面の向上と来訪者をもてなすための機能をつくる
- ③自然、歴史、文化、賑わい：6次産業化の推進と訪れたい魅力をつくる

整備方針：◎早期実行プロジェクト、
◆都市マス実践業務、
●重点プロジェクト
取組施策：☆取組中、★取組完了

- ①C-3 地区間や海岸線をつなぐ歩行者ネットワークの充実を図る。
- ②D-1 地震や津波、風水害に負けない地域をつくる。
- ◎③H-1 各地区のジオサイトや美しい海、四季の花々を学び、親しむことができる空間をつくる。

☆③H-4-1 沿道への花の植栽・管理
(アダプトプログラムの実施など)

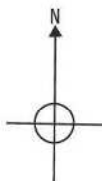
◎③H-6 地区の特色ある資源を楽しみながら周ることができるコースづくりを行う。

●③G-1 農業や漁業の6次産業化の推進を図る。
☆③G-1-4 学校教育と連携した体験プログラムの実施・充実

☆①B-1-2 漁港整備等の
漁業生産基盤の実施

☆②D-1-8 外防波堤の整備

☆①B-1-2 漁港整備等の漁業生産基盤の実施



凡 例		
■ 利便性の高い住宅地	● 観光・歴史・文化資源	▨ 砂浜
■ 美しい海がある住宅地	● 生活支援施設	(H) ヘリポート
■ 農地	● 教育関連施設	— 主要道路
■ 森林	● 主な山	— 都市計画区域界
■ 浄化センター	● 公園・緑地	— 地域界
	● 遊歩道	